

平成22年度 主要事業説明資料

新潟県三条市



市の花
ひめさゆり



市の木
五葉松



市の鳥
芝地鶏

1 地域経済の再活性化

平成22年度「果断の年」

地域経済の
早期回復に向けて

① 成長産業分野進出支援

② 平成21年度に引き
続き実施する経済対策

地域経済の再活性化
～地域の底力強化～

雇用の確保・拡大

地場産業の
経営安定化対策

中小企業向け各種融資制度

・設備資金、運転資金の融資、信用保証料の補助

中小企業経営安定化緊急対策資金信用保証料助成事業

・限度額の拡充(3,000万円←2,000万円)、助成期間の延伸(～平成22年9月まで)

雇用安定化事業補助金

・中小企業緊急雇用安定助成金申請手数料補助

中小企業大学校受講料補助金

地域ブランドの
確立

イノベーション創造

燕三条ブランド構築事業

・イメージパンフの作成、ネスパスでの情報発信など

① 成長産業分野進出支援事業

※1-1 ②参照

・成長産業分野への進出支援など

次世代産業創造プロジェクト事業(地場産センター)

※1-1 ③参照

・小型風力発電装置(ジャイロミル型小型発電装置)の開発

売れるものづくり支援事業

※1-1 ①参照

・市場調査、新技術、新製品開発支援など

技術開発、産学共同開発、新商品企画開発、ビジネスアイデアオーディション(地場産センター)

販路開拓

売れるしくみづくり支援事業

※1-1 ①参照

・見本市出展などによる販路開拓支援

展示会出展、新事業創出プロジェクト、企業情報・IT支援(地場産センター)

・高付加価値農産物の見本市出展など

高付加価値化

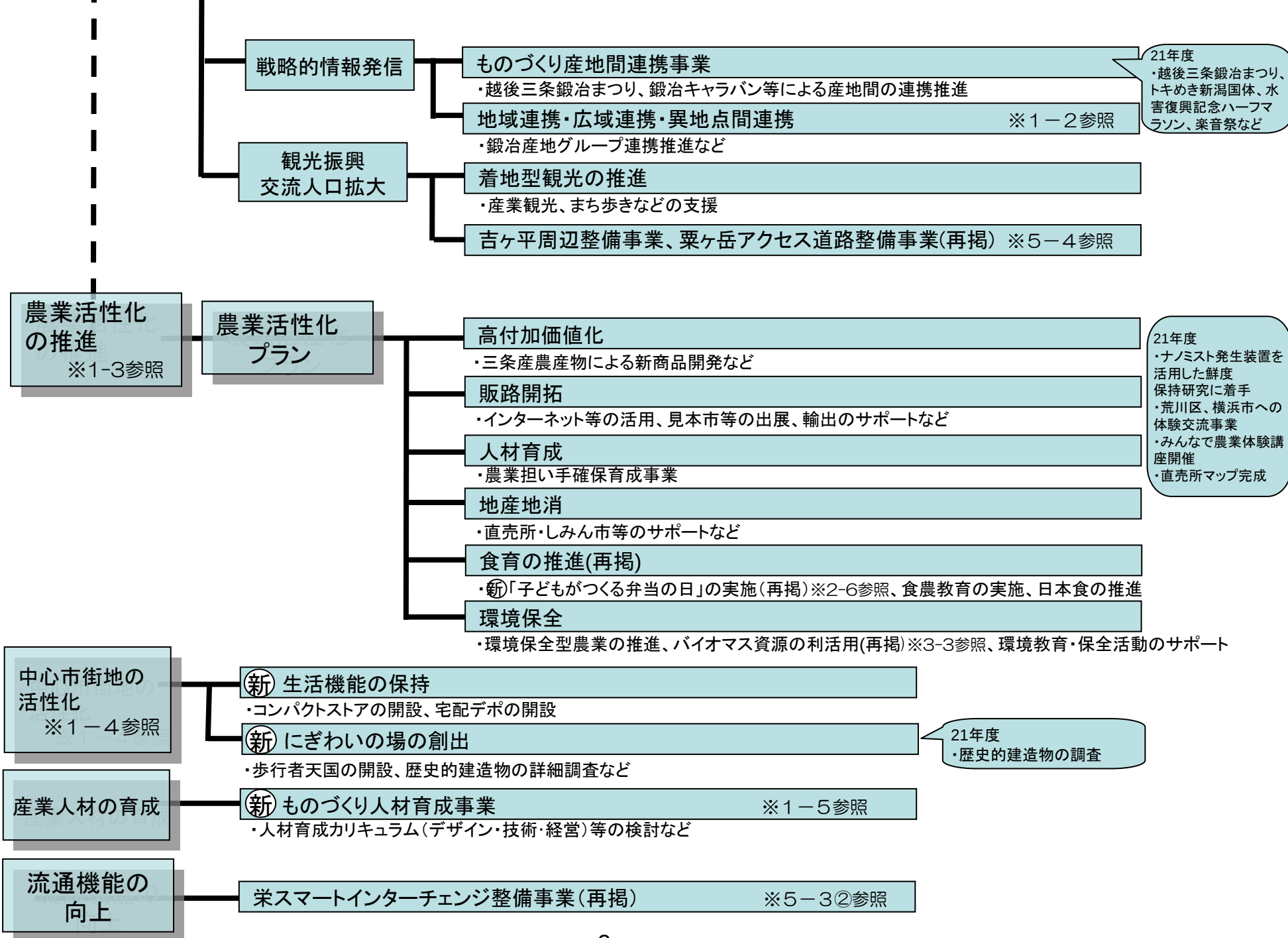
交流拠点施設等整備検討事業(再掲)

※5-4参照

・下田地域、保内地域、競馬場跡地の整備

21年度
燕三条ブランド推進室の
設置(地場産センター)

21年度
・実験的事業の実施、
組織づくりの検討(下
田地域)
・かわまちづくり計画認
定(競馬場跡地)



1-1 三条市の産業構造転換

～輝く技術で、産業集積都市の形成を目指して～

厳しい経済環境だからこそ、市内企業が意欲を持って挑戦し、需要の拡大が見込める新しい事業分野への進出を促すため財政面、金融面、人材面など多面的な支援を行うもの

【予算額】 73,595千円

②成長産業分野進出支援事業

①既存事業

※1-1①参照



個別企業が自由なものづくりに挑戦！

環境・エネルギー

※1-1②参照

医療・介護

コンソーシアムを組んだ企業が環境・エネルギー、医療・介護などの成長産業分野の幹を太く太く育てるべく挑戦！

③プロジェクト事業

※1-1③参照



プロジェクト事業として風力発電装置の開発に挑戦！

支援体制の充実

国・県・大学・民間企業などの有識者のアドバイスを受けながら、技術、デザインを始めとして、製品・技術開発から販路開拓までのトータルの支援を受けられるしくみを検討

1-1 ① 売れるものづくり・ 売れるしくみづくり支援事業（既存事業）

企業の持つ優れた技術力・製品開発力を活用しながら、新たな製品・技術開発を促すとともに、販路開拓を促すための支援を行うもの

【予算額】 35,000千円

★売れるものづくり支援事業★

【事業概要】

製品開発等のための事業費や調査研究費の一部を補助することにより、技術開発等に対する市内中小企業の新たな取組を促進し、企業及び業界の活性化を図ることを目的とするもの

- ・ 補助率：総事業費の2/3
- ・ 補助額：上限4,000千円
- ・ 対象範囲は1～3次産業と広範囲

【事業分類】

- ・ 調査研究事業：1,000千円×5件
- ・ 製品開発事業：4,000千円×5件（件数は予定）

★中小企業設備近代化促進資金★

【事業概要】

- ・ 融資限度額：2,500万円以内
- ・ 期間：10年以内
- ・ 利率：年1.9%
- 保証料補助率 0～60%
- 市が1%の利子補給

新技術・新製品開発
の促進

★売れるしくみづくり支援事業★

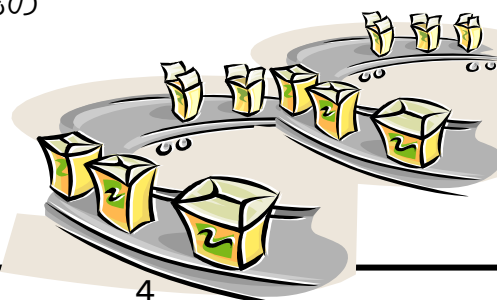
【事業概要】

市内中小企業の販路開拓を支援するため、見本市という集積基盤を活用して、出展に向けた勉強会からブース出展まで広範囲に支援するもの

● 見本市出展支援事業

- ・ 補助率：2/3
- ・ 補助額：上限1,000千円
- ・ 予定件数：10件

販路開拓の推進



1-1② 成長産業分野進出支援事業

環境・エネルギー、医療・介護など国としても重視している成長産業分野に対して、「産産連携」や「産学連携」などのコンソーシアムを構築して意欲的に挑戦する市内企業の戦略的な新規分野への進出に対して国と連携した支援を行うもの

財政的支援

成長産業分野進出支援

【補助率等】

- ・補助率：総事業費の4/5
- ・補助額：上限15,000千円
- ・予定件数2件

3年間の継続支援

●国、県などの担当者、大学などの専門家集団から直接助言、指導を受けられる体制整備

支援

支援

支援

コンソーシアムの構築

事業の説明

国

県

大学

企業

など

必要な情報

人材的支援

金融的支援

★中小企業設備近代化促進資金★

【事業概要】

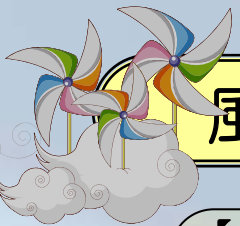
- ・融資限度額：2,500万円以内
- ・期間：10年以内
- ・利率：年1.9%
- 一律60%の保証率
- 市が1%の利子補給



1-1 ③ 次世代産業創造プロジェクト事業

世界的に「クリーン発電」への期待が高まっている中で、いまだ課題が多い「風力発電」分野において新たな発想による独創的なシステムを開発し、次世代産業への進出を目指すもの

※平成21年度繰越事業



風力発電装置（ジャイロミル型小型発電装置）の開発

【 特 徴 】

- ソーラーパネルと併用
- 風速が弱い日の夜間においても照明能力があり、高風速下における安全性機能を有する。
- 緊急時における携帯電話充電機能を有する。
- 各種の軽量高強度部材を適宜採用することによって3種類の異なる装置を開発し、それぞれの機能評価をする。



【 実施体制 】

- 産学官の開発コンソーシアムを形成し、地場産センターを管理法人としたプロジェクトを運営する。
- 要素技術開発については、長岡技術科学大学の技術開発センタープロジェクトに申請するなど、県内大学と連携する。

【 実施期間 】

- 第1期 平成21年11月～平成22年11月
・試作機の開発 3種類・試作機の設置と試運転
- 第2期 平成22年12月～平成24年11月
・設置機の機能評価と運用およびメンテナンス



1-2 地域連携・広域連携・異地点間連携

「志を同じくする自治体の連携」をキーワードに、最小単位としての「地域連携」、新潟空港・港湾を基軸とした「広域連携」、差別化を図る「異地点間連携」を進め、地域の魅力を国内外に認知させるもの

地域連携

金属加工産業の集積地であり、かつ高い技術力を集積しているこの地域の強みを、対外的に知名度のある「燕三条」として構築する。

対外的に知名度のある「燕三条」の活用

地域ブランドの確立

地域の再活性化

異地点間連携

武雄市、三木市、越前市など、志を同じくする諸都市と連携し、新商品開発事業や交流事業などを行う。

互いの魅力を高めあう

鍛冶産地グループ連携
特産品コラボ商品の開発

新たな魅力の創造
産地活性化・販路拡大



広域連携

新潟市、長岡市など関係市町村で構成する本圏域の優位性を、この圏域の地域経済活性化につなげるため、関係市町村と経済活性化に向けて事業を実施する。

新潟・聖籠 空港・港湾

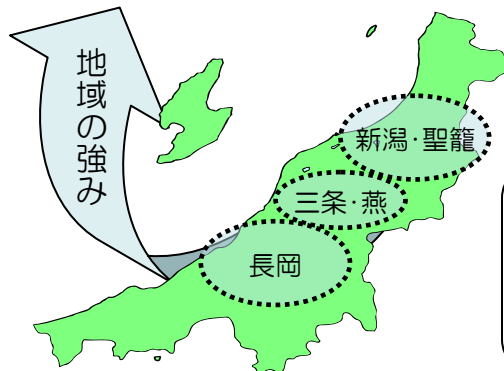
三条・燕 金属加工・高度技術

長岡 機械・電気・精密

地域の強みを結集
より大きな魅力へ転嫁

日本海側の拠点化

国も日本海物流に大きな焦点を当て始めた。
(バルク中核港と日本海中核港について本格的に検討開始)



1-3 農業活性化の推進

意欲的に取り組む農業者を対象として様々な取組を展開し、市民と行政が協働で農業の活性化を図るもの

農業の振興

三条市食育の推進と農業の振興に関する条例

食育の推進

農業活性化プラン

【予算額】7,073千円

農産物の高付加価値化

- ・ナノミスト発生装置による果樹等の鮮度保持、出荷時期の延伸の研究
- ・地場農産物を活用したスイーツフェアの開催



販路開拓

- ・東京ビッグサイト等での見本市出展サポート
- ・海外への輸出サポート
- ・地域ポータルサイトの活用
- ・異地点間連携（箕面市農業祭などへの出展）

人材育成

- ・農業担い手確保育成事業

地産地消

- ・地場農産物の直売所開設（5月～11月の土日祝日（庭月庵悟空駐車場））
- ・しみん市等のサポート



食育の推進

- ・「三条まんま塾」の活動
- ・食育という視点での生産者と消費者との連携

環境保全

- ・環境保全型農業の推進
- ・バイオマス資源の利活用
- ・環境教育・保全活動のサポート
- ・堆肥化施設の建設

食育推進計画 【予算額】7,056千円

学校における食育

学校給食を中心に、生涯を健康に生きるための「食べる力」を育てる

完全米飯給食

より安全な特別栽培米・有機栽培米の使用と保護者負担の軽減

地産地消

地元で作られるものの自給率90%

食教育

健康づくり・食農教育の実施

保育所における食育

包丁などの三条製品を活用した食育教育の実施



地域における食育

妊産婦から高齢者まで一環した食指導による健康づくり

家庭における食育

食への感謝や家庭内のコミュニケーションなどを図るため、「子どもがつくる弁当の日」を実施



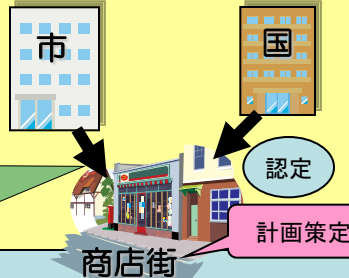
1-4 中心市街地の活性化

中心市街地の活性化を図ることを目的として、地元発信により地域の魅力を高め、地域住民の利便性の向上に資する取組に対し支援を行うもの

【予算額】 17,282千円

生活機能の保持

商店街の活性化を図ることを目的として、商店街活性化事業計画に基づき、国の認定を受けた商店街を支援！



商店街活性化事業計画【概要】

「買い物便利」「触れ合いあふれる」商店街づくりに向けた取組を展開

1 「商いの場」の充実

2 「公共の場」の充実

3 商店街活性化委員会の設立

●コンパクトストア、宅配テポの開設



●高齢者のお休み処、子育てよろず相談所の設置に向けた検討



にぎわいの場の創出

中心市街地をにぎわいの場にするために、まち歩き・まちなかイベント・歴史文化継承の3つのプロジェクトを設置し、中心市街地の活性化に向けた検討を行うもの



まんなかプロジェクト

① まち歩きチーム

② まちなかイベントチーム

③ 歴史文化継承チーム

検討

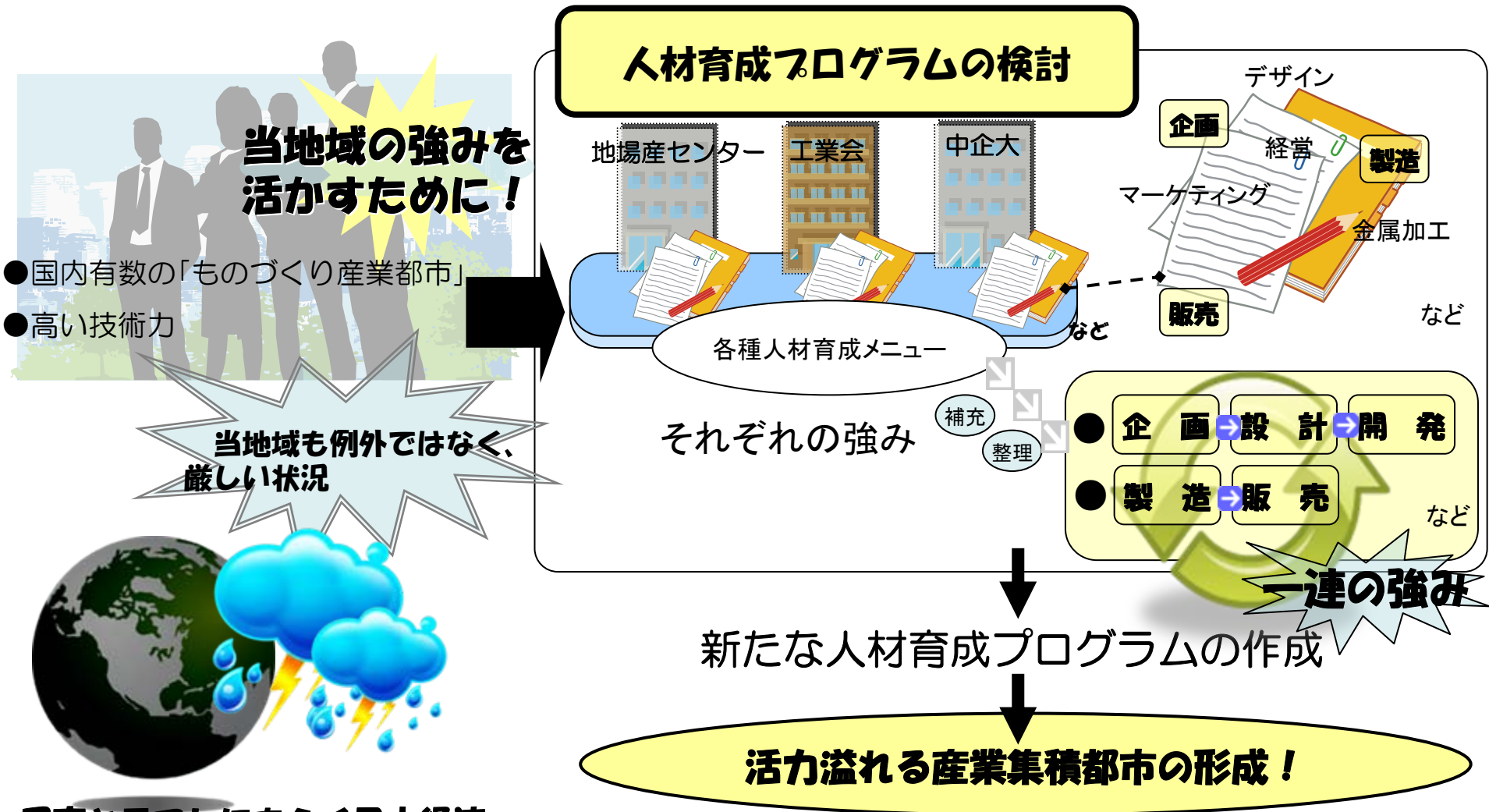
●歩行者天国の開設



1-5 ものづくり人材育成事業

厳しい時代背景の中で、ものづくりから販売まで一連の流れを担うことができる人材を育成するもの

【予算額】500千円



2 子育て環境の充実

11

平成22年度「果断の年」

すまいる子どもプラン(次世代育成支援行動計画)の推進 ※2-1参照

小中一貫教育の推進

小中一貫教育推進事業 ※2-2参照

・**新** 市内すべての小中学校での小中一貫教育導入(小・中学校交流活動、小・中学校教員による相互乗り入れ授業)、小中一貫教育検討委員会等での検討(検討委員会、推進協議会、よりよい教育環境づくり協議会)、小中学校講師の配置、嘱託指導主事の配置、**新** 研究発表会の開催、**新** 小中連携のためのバス購入など

21年度
・小中一貫教育検討委員会等での検討、モデル中学校区での小中一貫教育の導入など
・小中一貫教育推進室の設置

小中一体校建設事業(第一中学校区、第二中学校区) ※2-2、5-4参照

- ・第一中学校区小中一体校：地質調査、用地取得、耐力度調査等
- ・第二中学校区小中一体校：地質調査、用地取得、用地造成等

21年度
・小中一体校建設に係る基本構想

教育環境の充実

小・中学校の耐震化 ※2-3参照

- ・校舎改築(裏館小(地質調査)、一ノ木戸小(移転改築))、校舎補強工事(第二中、本成寺中)、体育館補強工事(西鱈田小、月岡小、大崎小、南小、第一中)

学校給食施設の施設整備

- ・第一中学校区及び第二中学校区小中一体校に調理室設置

スクールバスの運行

- ・運行本数の増便及び運行エリアの拡充

通学路の整備

- ・**新** 第一中学校区通学路整備(市道南四日町西本成寺線)

新 幼児教育推進事業 ※2-4参照

- ・幼保小連携推進員の配置(2人)、「(仮称)幼児教育推進プラン」、「幼保小連携カリキュラム」の検討、講演会の開催

エデュテイメントシステム事業(教育デジタルコンテンツ)

- ・ICT技術を活用した教育コンテンツの運用(児童クラブ、すまいるランド等に設置)

小中学校ICT推進支援事業

- ・ICT推進支援員の配置(9人)

子育て支援の充実

総合サポートシステム事業

※2-5参照

・子ども・若者総合サポート会議の開催、子育てサポートファイル「すまいるファイル」の配布、子ども発達相談室の運営

特別支援教育事業

※2-5参照

・特別支援教育指導員の配置

適応指導事業、いじめ・不登校対策事業

※2-5参照

・適応指導教室指導員の配置、(新) 不登校児童生徒支援員の配置、(新) いじめ・不登校ZERO講演会の開催、(新) 不登校・不適応に悩む保護者向け講演会の開催

21年度
・総合的サポートシステムの構築
・子ども発達相談室の拡大
・言語指導専門員の配置

食育の推進(再掲)

(新) 「子どもがつくる弁当の日」の実施 ※2-6参照
・完全米飯給食の実施、地産地消の推進、食教育の実施

公立保育所の施設整備(再掲)

※2-5、5-4参照

・(仮称)中央保育所(福多保育所・大和保育所の統合)建設、保内保育所子育て支援センター建設

21年度
三条保育所、荻堀保育所民営化

公立保育所民営化の推進

・(新) 西四日町保育所、あいあい保育所の民営化

放課後子ども教室推進事業

※2-5参照

・放課後子ども教室の運営(新) 月ヶ岡養護学校)

21年度
・過密児童クラブの解消(松ノ木児童館・児童クラブ開設)

子育てに関する情報の発信・啓発の強化

※2-5参照

(新) 子育てポータルサイトの運営、(新) 思いやり駐車区画の整備、(新) すまいるランドフェスタ(開設1周年記念事業)の開催 など

21年度
父子手帳の交付

(新) 子ども手当給付事業

・平成22年6月から給付開始

2-1 すまいる子どもプランの推進

6つのプロジェクトを柱にライフステージに応じた総合的で一貫した子育て支援の充実を図るもの

すまいる
子どもプラン

次世代育成支援行動計画
(後期計画H22年度～H26年度)

子どもを生み育てることが幸せと感じられ、
子どもの笑顔があふれるまち

ハッピー子育てプロジェクト

親と子が楽しめる場を増やすこと
や家庭教育の充実を図る

未来を拓く学びプロジェクト

小学校教育への段差を乗り越える力を身に付け、
学校教育での様々な課題を乗り越えることのできる
次代を担う心豊かな子どもたちの育成

子どもの交流活動プロジェクト

子どもが健全で豊かな人間性を育める環境づくり

ワークライフバランスプロジェクト

多様なライフスタイルにも対応できる
保育サービスの提供や子育て家庭にとって働きやすい職場環境の
充実を図る

子育て応援社会プロジェクト

子どもの権利が尊重され、子育てを地域ぐるみで応援できる社会の形成

子ども・若者支援プロジェクト

乳幼児から就労・自立に至るまで切れ目なく一貫した総合的な支援

高校・就労等

中学校

小学校

幼稚園・保育所

乳児

一貫した支援

家庭

連携

地域
企業等



2-2 小中一貫教育の推進

三条市の将来を担う大切な宝である子どもたちを心身ともに健やかに成長させるため、全小中学校で義務教育9年間を連続した期間としてとらえた小中一貫教育の推進を図るもの

小中一貫教育推進事業 【予算額】 68,477千円

小中一貫教育の導入

市内すべての小・中学校で小中一貫教育を導入
小学校(24校)・中学校(9校)

主な取組内容

小・中学校の
交流活動

小・中学校の
部活動交流

小・中学校教員の
相互乗り
入れ授業

小学校高学年
の一部教科の
担任制

サポート体制

- 小中学校講師の配置
- 嘱託指導主事の配置
- 小中一貫教育推進室

スクールバスの購入、
小・中学校交流活動
の支援

小中一貫教育検討組織

小中一貫教育検討委員会

カリキュラム編成部会

小中一貫教育推進協議会

※各中学校区に設置

- ・地域連携部会
- ・共同授業・共同活動部会
- ・評価・広報活動部会

よりよい教育環境づくり 協議会

※各小・中学校に設置

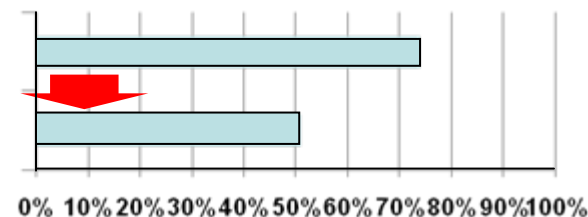
モデル校区における交流活動の成果

※アンケート結果(第三中学校区の5年生)

■中学校の「国語」に不安がある

授業前

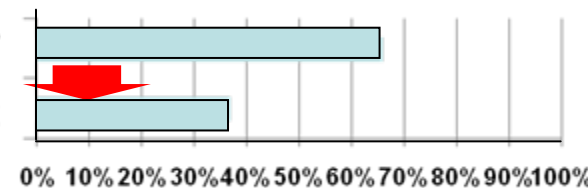
授業後



■中学校の先生の教え方に不安がある

授業前

授業後



小中一体校の施設整備

【予算額】 1,237,164千円

第一中学校区小中一体校建設

地質調査、用地取得、
耐力度調査等

第二中学校区小中一体校建設

地質調査、用地取得、
用地造成等

2-3 小・中学校の耐震化

児童・生徒の安全と良好な教育環境を確保するとともに地域住民の安全と安心を確保するため、耐震診断結果を基に必要な改築、補強工事を行うもの

校舎改築工事

○裏館小学校改築事業 【予算額】 11,900千円

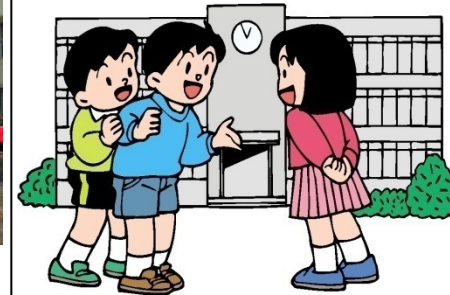
地質調査

【事業内容】

校舎改築(現地改築)

- ・校舎供用開始：平成24年9月(予定)
- ・全校地供用開始：平成25年9月(予定)

〔※一ノ木戸小学校については、第二中学校隣地に移転改築し、小中一体となった校舎を建設 ※2-2参照〕



校舎補強工事

【対象施設】

○第二中学校

○本成寺中学校

※平成21年度繰越事業



体育館補強工事

【対象施設】

○西鱈田小学校

○月岡小学校

○大崎小学校

○南小学校

○第一中学校

※平成21年度繰越事業



2-4 幼児教育推進事業

幼児期の教育の重要性を強く受け止め、幼稚園、保育所、公私立を問わず三条市の全幼児(3歳から5歳)を対象とした「(仮称)幼児教育推進プラン」を策定し、幼保小連携の推進などの幼児教育の振興を図るもの

幼児教育推進事業

【予算額】 3,989千円

【事業概要】

少子化、核家族化、都市化など社会の急激な変化、人間関係や地域におけるつながりの希薄化による子どもの育ちへの影響が及ぼす課題に対して、幼児期における教育の重要性に鑑み、幼児教育の一層の振興・充実を図るため、幼保小連携を含め総合的な施策の具体の方策を示すもの

幼児教育推進体制

教育委員会

幼児教育推進会議



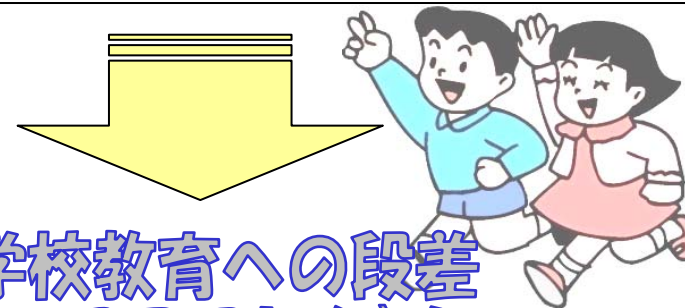
子どもの育ちと学びの連続性を意識して
幼児教育の充実を図る。

幼保小連携推進員の配置

幼保小連携推進員を配置し、推進体制の整備を図る。

「(仮称)幼児教育推進プラン」の策定

- 幼児教育の質的向上
- 特別な支援を要する幼児に対する教育・保育の推進
- 幼保小連携の推進
- 地域に開かれた幼稚園・保育所(園)づくり など



小学校教育への段差
(小一フロフレム)を
乗り越える力を身に付ける

2-5 子育て支援の充実

乳幼児期から末就労等の若者への就労支援まで切れ目のない一貫した支援を行う「子ども・若者総合サポートシステム」、施設整備や放課後子ども教室の開設による子育て環境の充実、子育てに関する情報の発信・啓発等を通じて子育て支援の充実を図るもの

総合サポートシステム事業

子ども・若者総合
サポート会議

【予算額】 3,962 千円 個に応じた切れ目のない一貫した支援

子ども・若者を乳幼児から就労に至るまで、切れ目なく、総合的に必要な支援を行うため、市がその情報を一元化し、関係機関が連携して個に応じた支援を継続的に行う。



すまいるファイルの活用

関係する支援策

○特別支援教育事業

発達障がいを含め特別の支援を必要とする児童・生徒に適した教育を行う。

- ・特別支援教育指導員の配置

○適応指導事業、いじめ・不登校対策事業

義務教育を連続した期間ととらえ、小・中が連携しつつ、いじめの根絶と不登校の解消を図る。

- ・いじめ・不登校ZERO講演会の開催（各中学校区）
- ・不登校に悩む親のための講演会の開催
- ・適応指導教室指導員、不登校児童生徒支援員の配置

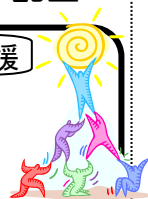
学校教育課

子育て支援課

青少年育成センター

真に効果的な支援

類似事務の
統合・再編



公立保育所の施設整備



【予算額】 545,893千円（うち、²¹補正61,859千円）

- （仮称）中央保育所の建設（福多保育所・大和保育所の統合）
- 保内保育所子育て支援センターの建設

放課後子ども教室推進事業

【予算額】 4,701千円

放課後の一定時間など子どもたちが安心・安全に過ごせる居場所を確保するため、小学校の体育館等を利用して地域住民の参画を得て子どもたちに勉強やスポーツ、その他交流活動を行う。



新たに
月ヶ岡養護学校に開設

子育てに関する情報の発信・啓発の強化

【予算額】 6,669千円

- 子育てポータルサイトの運営
- 思いやり駐車区画の整備
- すまいるランドフェスタの開催



2-6 「子どもがつくる弁当の日」の実施

子どもが自ら弁当を作ることで、食事に携わっている人への感謝の気持ちを養い、子ども同士や家庭内のコミュニケーションを通してお互いの心のつながりを再認識するなど、子どもの生きる力を高めるため、「子どもがつくる弁当の日」を小学校で実施するもの

学 校

調理技術を身に付ける

家庭科の授業

- ・包丁の使い方
- ・火の扱い方
- ・調理手順



子どもが自分で「弁当」を作る

対象：小学校の5、6年生



弁当を作る
ことを通して

家 庭

献立を考え
食材を調達する



食事に携わって
いる人への感謝
の気持ちを養う

友達や家族との
コミュニケーションや
会話の拡大

多くの才能を
引き出す

食べることへの感謝
の気持ちを持つ

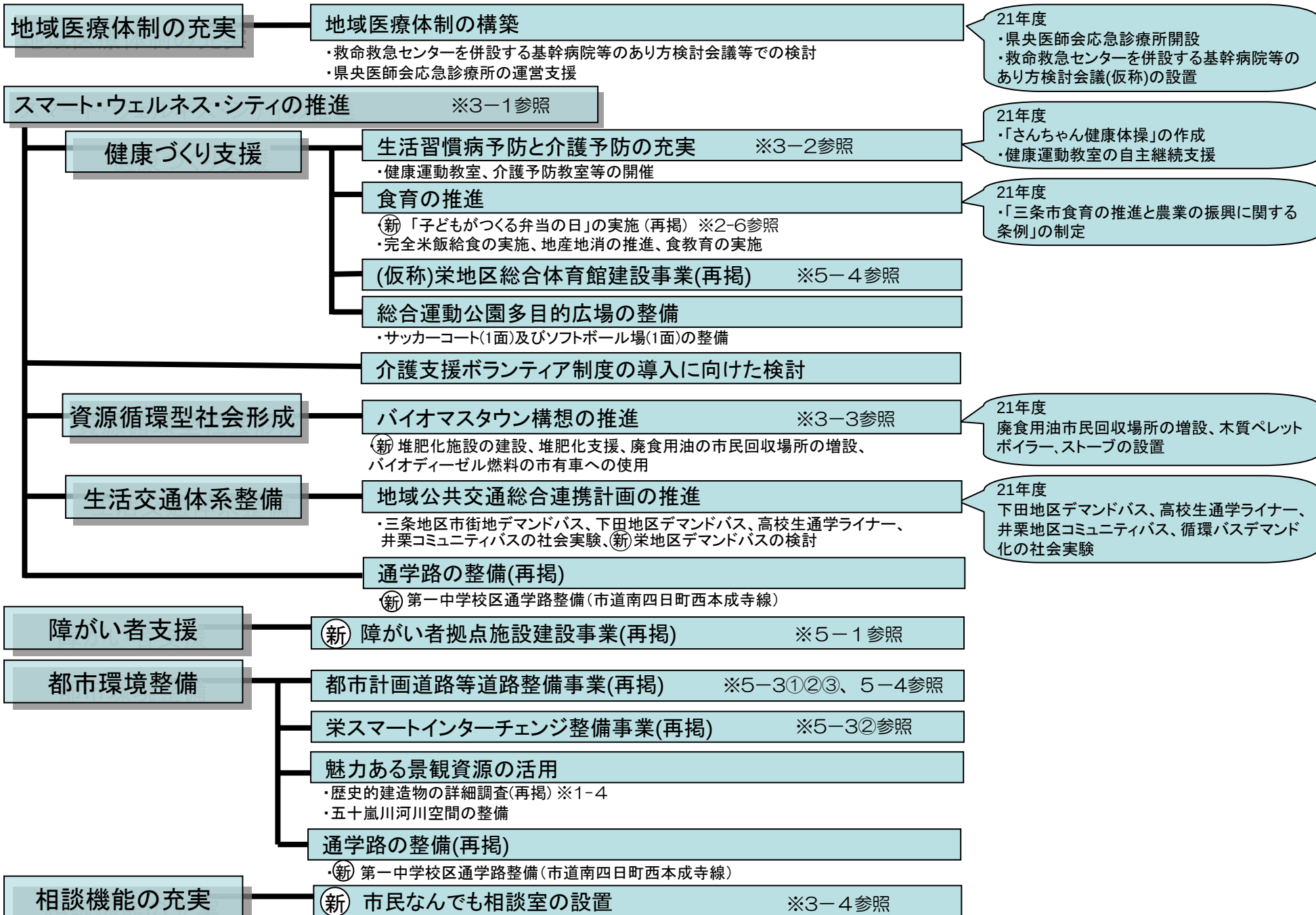
食べ物を選ぶ力を
身に付ける



家庭教育力の向上・子どもの生きる力を高める

3 安心、快適な都市・住環境の整備

平成22年度「果敢の年」



3-1 スマート・ウェルネス・シティの推進

ウェルネス（健幸）をこれからのまちづくりの大切な視点の一つとし、市民の誰もが健康で幸せと思えるまちづくりを進めるもの

スマート・ウェルネス・シティ

スマート・ウェルネス・シティとは・・・

◆健康につながるまちづくり

- ・生活習慣病の予防(運動の継続、食生活の改善など)
- ・道路整備のあり方(歩道、自転車道など)
- ・都市交通のあり方

◆楽しめるまちづくり

- ・自ら外に出たくなるコミュニティづくり
- ・樹花の豊富なまち(まちの景観など)

◆地域資源を活用したまちづくり

- ・産業の育成
- ・農業の振興(地産地消、無農薬・減農薬栽培など)

◆環境に優しいまちづくり

- ・資源の循環などによる環境負荷の軽減



「スマート・ウェルネス・シティ」推進のための6つの施策

健康運動教室の開催

教室型教室 地域出張型教室 企業出張型教室 フォローアップ教室 薬局型教室

食育の推進

食育の推進と農業の振興に関する条例

環境保全型農業

学校食育 保育所食育 地域食育 家庭食育 地産地消

介護支援ボランティア制度の導入に向けた検討

生きがい支援 ボランティアの提供 社会貢献



歩道の整備

通学路整備 歩道整備

地域公共交通体系の構築

デマンドバス コミュニティバス 高校生ライナー

バイオマスタウン構想の推進

堆肥化 BDF化 木質燃料化



3-2 生活習慣病予防と介護予防の充実

生涯にわたり、健康で介護を必要とすることなく暮らせるよう、心身機能の低下を予防し、生活機能の維持・向上を図るため、運動器の機能向上を目指した自主的な運動環境を整備するもの

健康運動教室事業

【予算額】70,639千円

【事業内容】

40歳以上の医師から運動を禁止されていない方を対象に、科学的根拠を基に開発した「e-wellnessシステム」を使用し、参加者一人一人にあわせた9ヵ月間の個別運動プログラムによる運動教室を実施する。

また、継続支援としてフォローアップ教室を創設するとともに、地域や企業への出張教室の開催、また、医療機関や薬局、総合型地域スポーツクラブと連携した運動環境の拡大を図る。

体操事業

【予算額】5,416千円

【事業内容】

高齢者の心身機能の改善・向上を目的にだれでも無理なくできるオリジナル体操「さんちゃん健康体操」を普及する。

- 各地区集会所等での実施
- 出前教室・サークル活動支援
- 体操サポーターの養成



健康運動教室のイメージ

健康運動教室



教室型

卒業生

継続を支援する

フォローアップ
教室

月2回程度参加

すそのを広げる

地域出張型

地域の集会所等を活用した
健康運動教室

企業出張型

会社の空きスペースを活用
した健康運動教室

薬局型教室

薬局、医療機関を拠点とし
た健康づくり事業の実施
※医療機関と連携

総合型地域
スポーツクラブ
りんぐる

さんちゃん
健康体操



3-3 バイオマスタウン構想の推進

環境への負荷の低減と限られた資源を有効に活用する資源循環型社会の構築に向け、バイオマスタウン構想に基づきバイオマスを有効に活用するための取組を行うもの

堆肥化施設の建設

【予算額】 165,500千円
実施設計、建設工事 ほか

【施設概要】

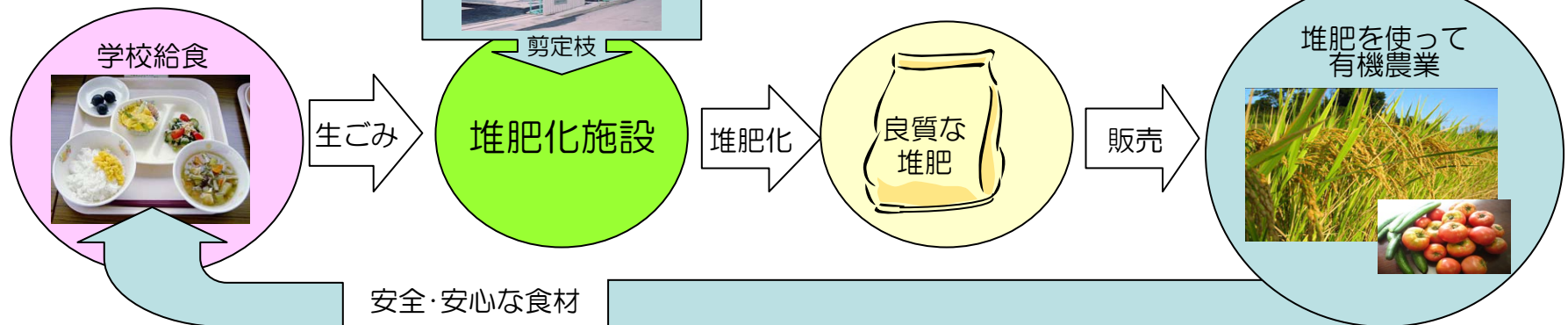
- 建設場所 三条市福島新田地内
- 処理能力 4.9t/日
- 供用開始 平成23年度(予定)



堆肥化施設のイメージ

堆肥化の推進イメージ

産業を産み出す地域循環型社会



3-4 市民なんでも相談室の設置

悪質商法による被害を始め、多様化する市民からの相談に的確に対応するため、消費生活相談窓口も兼ね備えた「市民なんでも相談室」を設置し、市民の不安の解消に努めるもの

相談内容の多様化

どこに聞けばいいの？

相談先がわからない

たらい回し

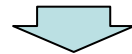
プライバシーが保たれない

人には聞かれないよ～

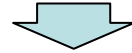
市民なんでも相談室 [消費生活相談窓口]

あらゆる相談を受け付け、相談内容に応じて適切に対応するとともに、相談ブースを設置し、プライバシーを確保する。

相談窓口の
明確化



相談業務の
効果的・効率的
運営



市民の不安解消
サービスの向上

相談の総合案内

内容に応じ、相談室での対応が困難な場合は適切な部署、機関等へ案内する

相談員のコーディネート

内容に応じ、相談ブースへ案内するとともに、適切な担当者と呼ぶなど相談ブースにおける相談対応をコーディネートする

[設置場所] 三条庁舎高層棟1階

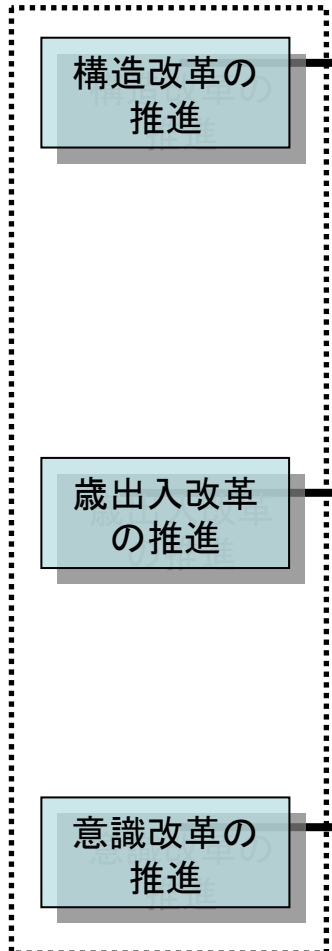
4 行財政改革の断行

平成22年度「果断の年」

新 新経営戦略プログラムの策定 ※4-1参照

急激な職員数の減少や依然として続くことが想定される厳しい財政状況にもかかわらず、地域主権の進展など今後ますます拡大する市の役割に対応するため、既存の事務事業や行政運営の仕組みを様々な角度から検証する。

改革の総括、取組の見直し



外部委託等計画及び公共施設運営計画の着実な実施 ※4-3参照

・(新)市民プールの指定管理者制度の導入、(仮称)栄地区総合体育館・栄青少年研修センター・栄野球場・栄体育館の指定管理者制度の導入検討 など

電子自治体・ICT利活用の推進

・電子申請・届出サービスの運用(住民票の写しの請求、所得証明書交付申請など)、電子入札システムの運用

21年度
・地域ポータル構築

業務の改善・効率化の推進 ※4-2参照

・業務におけるムリ・ムダ・ムラの排除、コスト意識の徹底

21年度
業務改善・効率化の取組(行政課、財務課ほか5課)

歳出入改革の推進

定員適正化計画及び公債費負担適正化計画の着実な実施 ※4-3参照

収納率の向上

・新潟県地方税徴収機構への参加(三条地域特別機動整理班への職員派遣)

21年度
・新潟県地方税徴収機構への参加

各部等が主体的に行う予算編成の徹底

・行政評価結果を反映した予算編成の推進

21年度
・外部アドバイザーによる接遇指導
・例月政策会議、市長との政策座談会

意識改革の推進

人材育成の推進及び接遇能力の向上

・(新)人事考課制度の見直し、接遇マニュアルの徹底、人材育成基本計画の着実な推進、例月政策会議による政策提案、市長との政策座談会等の実施

行政評価及び目標管理の実施

・行政評価(事前及び事後)の実施、市長指示事項に基づく目標管理の実施

21年度
・予算と連動した行政評価制度の構築
・市長指示事項に基づく目標管理の実施

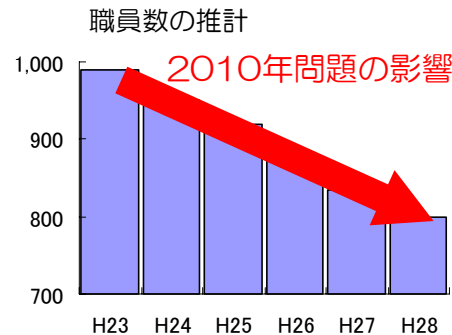
4-1 新経営戦略プログラムの策定

経営戦略プログラムが更新時期を迎えることから、急激な職員数の減少や依然として続くことが想定される厳しい財政状況、地域主権の益々の進展等の取り巻く環境の変化などを問題意識としてとらえ、既に取り組んでいる事務事業や既に構築されている行政運営の仕組みであっても、様々な角度から検証するもの

「ヒト」の課題

職員の大量退職による
蓄積された行政コストの低下
と厳しい財政状況

少数精鋭での行政運営



「カネ」の課題

心配される義務的経費の増加
国・地方ともに厳しい財政状況

限られた財源での行政経営



役に立つものだけを残す
役に立つように変えていく

《新経営戦略プログラムの取組の視点》

現プログラムを引き続き取り組む

現プログラムに修正を加える

現プログラムに新たに追加する

【行政の内容・質の向上】

現在行っている行政サービス、更にそれを担っている組織等が使える仕組みになっているか。役に立っているか。ムダはないかを検証する。

更に加速する地域主権、
少子高齢化、地域経済の
悪化、連携軸の多様化...

【環境変化への対応】

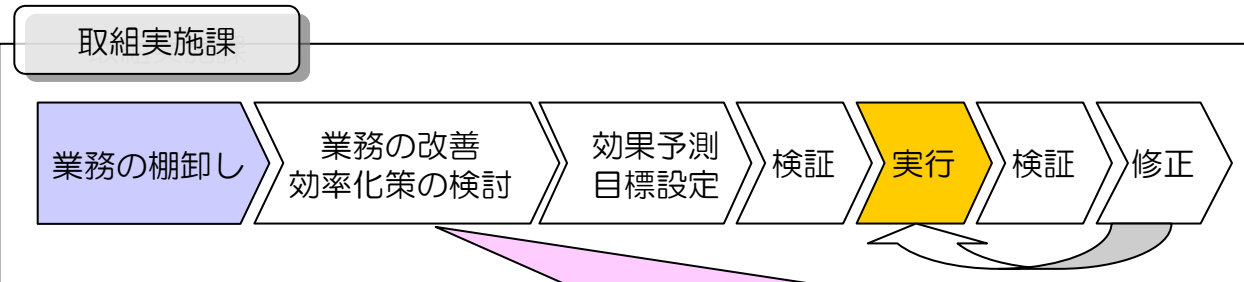
連携軸の多様化、加速する地域主権、
公務員制度改革等取り巻く環境の
更なる変化への対応

・少数で運営していくための執行体制・仕組みの再整理
・一つ一つの事務のやり方の検証・効率化
・事務事業のムダ排除・見直し(真に施策目的達成に有効な事務事業への絞り込み)...

4-2 業務の改善・効率化の推進

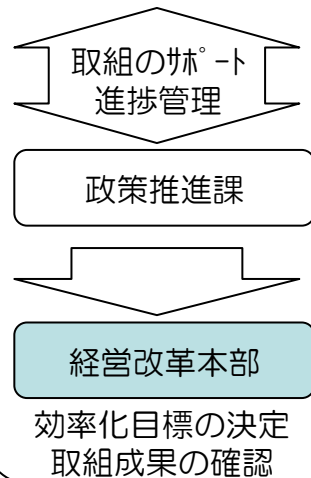
事務処理上の無駄等の排除、事務事業の括りの見直し等の「事務の効率化」に主眼を置いてきた「業務の改善・効率化」の取組に、新経営戦略プログラムの策定過程で明らかとなった問題点を視点として付加し、より質の高い行政サービスを目指すもの

【「業務改善・効率化」の取組】



H21年度の取組実施課

- ・ 行政課 (H20年度から継続)
- ・ 財務課 (H20年度から継続)
- ・ 会計課 (H20年度から継続)
- ・ 生涯学習課
- ・ 健康づくり課
- ・ 商工課
- ・ 農林課



【取組の視点】

作業改善

事務処理上の無駄の排除
業務の繁閑の差の解消
部門間の協力体制

大括り化

組織の最適化(事務の関連性)
サービス向上(市民目線)
効率化の括り(単に事務の集約化)

新経営戦略プログラムの策定との連携

新経営戦略プログラムの策定過程で明らかになった問題点を付加

取組を通じて
職員の意識改革
現場力の向上



更に質の高い行政サービスの提供・市民満足度の向上

4-3 経営戦略プログラムの実施状況

経営戦略プログラムの主要計画である外部委託等計画、公共施設運営計画、定員適正化計画及び公債費負担適正化計画の着実な実施に努めるもの

【財政指標】

	平成21年度決算見込	平成22年度当初予算見込	計画期間中目標（平成22年度）
経常収支比率	93.9 %	91.3 %（92.9%）	90.0 %以内
実質公債費比率	17.1 %	15.9 %	18.0 %未満
財政調整基金残高（職員退職手当基金を含む）	29.4 億円	28.3 億円	22 億円以上

※参考：「平成22年度当初予算見込」中、経常収支比率の（ ）内の数値は、退職手当債を発行しない場合の数値を示す。

【外部委託等計画】（ ）内の数値は計画外の数を示す。

	平成21年度		平成22年度 予 定	計画期間中目標 （平成22年度）
	実 施	累 計		
業務移管等	0 業務	3 業務	3 業務	6 業務
業務委託	3 業務	8 業務 (1 業務)	0 業務	11 業務
嘱託員等の活用	7 業務	11 業務	1 業務	40 業務

【公共施設運営計画】（ ）内の数値は計画外の数を示す。

	平成21年度		平成22年度 予 定	計画期間中目標 （平成22年度）
	実 施	累 計		
指定管理者 制度導入	8 施設 (1 施設)	46 施設 (5 施設)	1 施設	65 施設
民営化	2 施設	6 施設	2 施設	8 施設
廃 止	0 施設	8 施設	0 施設	7 施設

【定員適正化計画】

	平成21年度当初 （H21.4.1）	平成22年度 当初（予定）	計画期間中目標 （平成22年度）
職員数	1,040 人	1,017 人	1,044 人
前年度比較増減	▲ 30 人	▲ 23 人	—
計画との比較増減	▲ 33 人	▲ 27 人	—

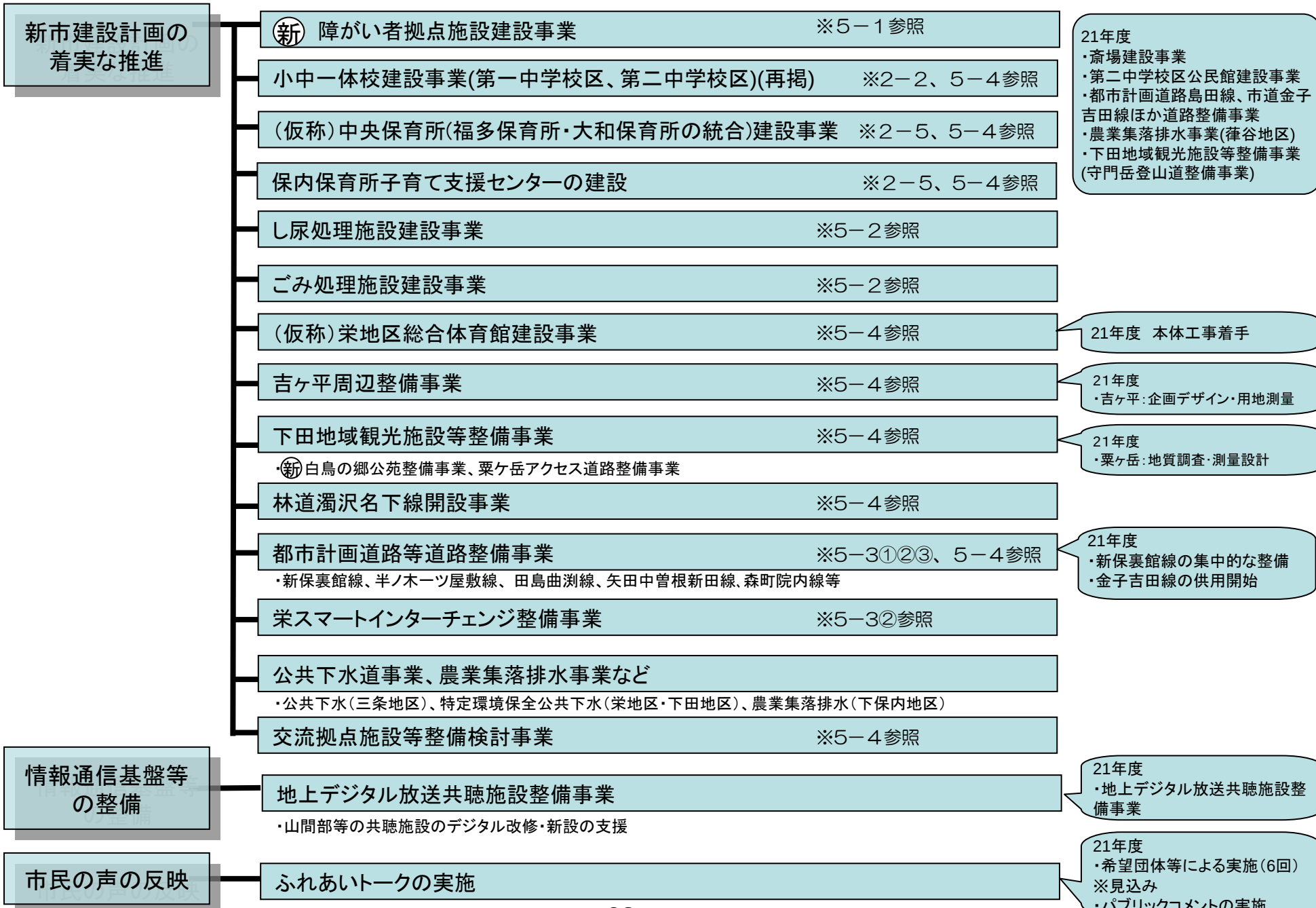
【公債費負担適正化計画】

	平成21年度 決算見込ベース （H19～H21年度）	平成22年度 当初予算ベース （H20～H22年度）	計画期間中目標 （平成22年度）
実質公債費比率	17.1 %	15.9 %	18.0 %未満
前年度比較増減	▲ 1.2 ポイント	▲ 1.2 ポイント	—
計画との比較増減	0.0 ポイント	0.2 ポイント	—

※ 実質公債費比率は3か年平均値

5 バランスのとれたまちづくりの推進

平成22年度「果断の年」



5-1 障がい者拠点施設建設事業

障がいの種別にかかわらず障がいのある方々が必要とする施設サービスの拠点として、関係法人が行う障がい者拠点施設の建設に対し支援するもの

障がい者拠点施設建設事業

【予算額】 136,204千円

土地取得、関係法人への補助(地質調査、実施設計経費)

【施設概要】

○設置場所：三条市柳沢地内(旧三条テクノスクール跡地)

○供用開始：平成24年度(予定)

障がい者拠点施設

障がい者福祉制度の新たな体系に応じた福祉サービスの提供

知的障がい

身体障がい

精神障がい

想定される主なサービス

就労移行支援

宿泊型自立訓練
(生活訓練)

相談支援事業

就労継続支援A型

地域活動支援センター

就労継続支援B型

自立訓練(生活訓練)

障がい者の特性に応じた自立をサポート

自立支援

生活訓練

就労支援

交流

相談

5-2 生活関連施設建設事業の推進

快適な日常生活を送ることができるよう、暮らしに必要な生活関連施設の整備を行うもの

し尿処理施設建設事業

循環型社会に対応した汚泥再生処理センターとして建設するもの

【予算額】 1,680,772千円

汚泥再生処理センター建設工事 ほか

【施設の概要】

- 建設場所 三条市塚野目地内
- 敷地面積 16,143m²
- 処理能力 136KL／日
- 処理方式 浄化槽汚泥対応型膜分離高負荷脱窒素処理
- 事業費 4,563,695千円
- 供用開始 平成23年1月（予定）



ごみ処理施設建設事業

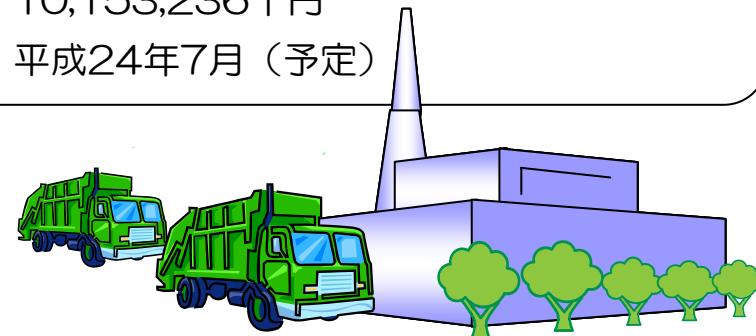
循環型社会に対応し、熱エネルギーを回収する機能を付加した施設として、設計、建設、運営事業までを一体で行う方式により整備するもの

【予算額】 1,596,347千円

ごみ処理施設建設工事 ほか

【施設の概要】

- 建設場所 三条市福島新田地内
- 敷地面積 約24,100m²
- 焼却施設処理能力 160t／日
- リサイクルセンター処理能力 11t／日
- 事業費 10,153,236千円
- 供用開始 平成24年7月（予定）



5-3 都市計画道路等道路整備事業 (①新保裏館線)

国道403号バイパスと市道西大崎西本成寺線を結ぶ都市計画道路新保裏館線の整備を行うもの

【整備状況】

全体延長：3,970m

国道403号BP～西大崎西本成寺線

整備済：2,046m (51.5%)

整備中：870m (21.9%) (アンダー工区・第2工区)

未整備：1,054m (26.6%)

【アンダー工区事業概要】

延長：530m 幅員：18～30m

事業期間：平成14年度～平成26年度

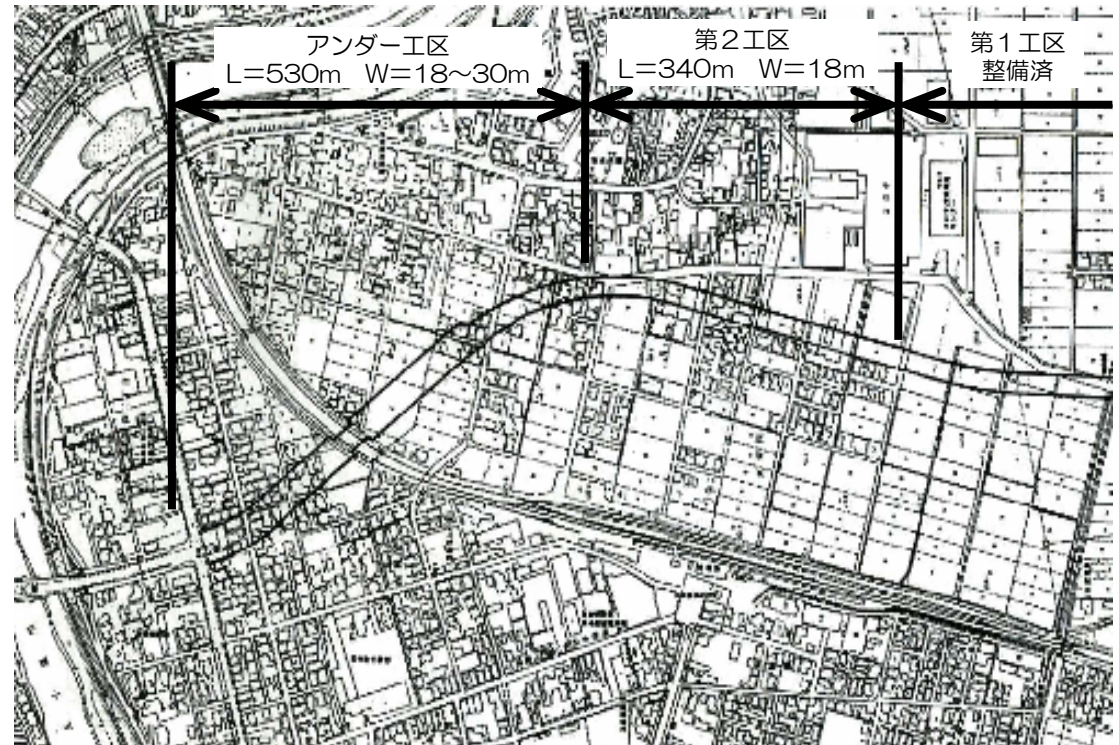
事業費：4,865,000千円(補助等事業費ベース)

【第2工区事業概要】

延長：340m 幅員：18m

事業期間：平成20年度～平成26年度

事業費：1,079,900千円(補助等事業費ベース)



【経過（アンダー工区）】

年度	～平成19年度	平成20年度	平成21年度	㊦補正(3月)	平成22年度
内訳	用地：8,965㎡ 建物補償：34棟	用地：2,920㎡ 建物補償：9棟	用地：614㎡ 建物補償：4棟 工事：杭打41本	工事：擁壁20m 道路盛土工事 110m	用地：590㎡ 建物補償：4棟 工事：擁壁40m 杭打21本
事業費	1,303,177千円	510,000千円	300,000千円	100,000千円	300,000千円
進捗率	26.8%	37.3%	43.4%	45.5%	51.7%

【経過（第2工区）】

年度	平成20年度	平成21年度	㊦補正(9月)	平成22年度
内訳	路線測量、用地測量、 実施設計、建物調査等	用地：1,580㎡ 建物補償：5棟	用地：2,280㎡ 建物補償：4棟	用地：1,743㎡ 建物補償：7棟
事業費	15,260千円	300,000千円	100,000千円	300,000千円
進捗率	1.4%	29.2%	38.5%	66.2%

5-3 都市計画道路等道路整備事業 (②半ノ木一ツ屋敷線)

地域経済の活性化や周辺住民の利便性向上等のため、栄パークینگエリアにETC専用のスマートインターチェンジを設置するとともに、国道8号から市道岡野新田2号線を結ぶ都市計画道路半ノ木一ツ屋敷線の整備を行うもの

【事業概要】

延長：1,400m 幅員：17m
 国道8号～市道岡野新田2号線
 事業期間：平成16年度～平成23年度
 事業費：1,564,047千円(補助等事業費ベース)

栄スマートインターチェンジ整備事業

【事業概要】
 北陸自動車道栄パークینگエリアにETC
 専用のスマートインターチェンジを設置
 【当初予算額】16,500千円
 測量設計 ほか



【半ノ木一ツ屋敷線整備経過】

年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	⑳補正	平成21年度	㉑補正(9月)	平成22年度
内訳	用地：221㎡ 建物補償：2棟	用地：1,524㎡	用地：1,151㎡ 建物補償：6棟 工事：113m	用地：797㎡ 建物補償：3棟 工事：280m	用地：1,318㎡ 建物補償：1棟 工事：178m	用地：535㎡ 建物補償：2棟 工事：226m	用地：29㎡ 建物補償：2棟 工事：176m	用地：302㎡ 工事：84m (完成断面累計765m)	用地：576㎡ 建物補償：5棟 補償：1件(野球場) 工事：490m
事業費	61,247千円	113,753千円	249,047千円	200,000千円	200,000千円	100,000千円	200,000千円	70,000千円	300,000千円
進捗率	3.9%	11.2%	27.1%	39.9%	52.7%	59.1%	71.9%	76.3%	95.5%

5-3 都市計画道路等道路整備事業 (③田島曲渕線)

一般県道三条下田線と市道西大崎西本成寺線を結ぶ都市計画道路田島曲渕線の整備を行うもの

【整備状況】

全体延長：1,230m

一般県道三条下田線

～市道西大崎西本成寺線

整備済：350m(28.5%)

未整備：880m(71.5%)

【事業概要】

延長：880m 幅員：16m

市道田島月岡線

～市道西大崎西本成寺線

事業期間：平成21年度～

総事業費：800,000千円(補助等事業費ベース)

【経過】

年度	②1 補正(9月)	②1 補正(3月)	平成22年度
内訳	路線測量、用地測量、 実施設計、建物調査等	用地：2,386㎡ 建物補償：1棟 工事：200m	用地：1,534㎡ 建物補償：4棟
事業費	40,000千円	154,000千円	83,000千円
進捗率	5%	24.3%	34.6%



5-4 新市建設計画の着実な推進

新市建設計画の理念達成に向け、登載事業の着実な推進に取り組むとともに、行政課題を見通した中で新規事業の方向性として整理したものについては、具体化に向け検討を行うもの

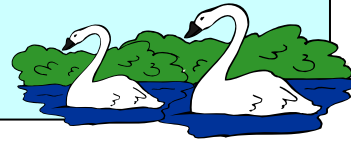
新たに着手する事業 2事業

○障がい者拠点施設建設事業

【予算額】136,204千円 土地取得、関係法人への補助(地質調査、実施設計経費)

○白鳥の郷公苑整備事業

【予算額】2,500千円 実施設計委託



継続事業 27事業(既存事業21事業、新規事業6事業)

○小中一体校建設事業(第一中学校区、第二中学校区) 【予算額】1,237,164千円

- ・第一中学校区：地質調査、耐力度調査、土地取得 ほか
- ・第二中学校区：地質調査、用地造成、土地取得 ほか

○(仮称)中央保育所建設事業 【予算額】484,034千円 本体工事 ほか

○保内保育所子育て支援センターの建設 ※平成21年度繰越事業 本体工事 ほか

○(仮称)栄地区総合体育館建設事業 ※平成21年度繰越事業 本体工事 ほか

○吉ヶ平周辺整備事業 【予算額】8,000千円 実施設計

○栗ヶ岳アクセス道路整備事業 【予算額】35,210千円 土地取得、工事 ほか

○林道濁沢名下線開設事業 【予算額】30,800千円 工事 ほか

○森町院内線道路整備事業 【予算額】8,170千円 測量、実施設計 ほか

○交流拠点施設等整備検討事業 【予算額】17,807千円

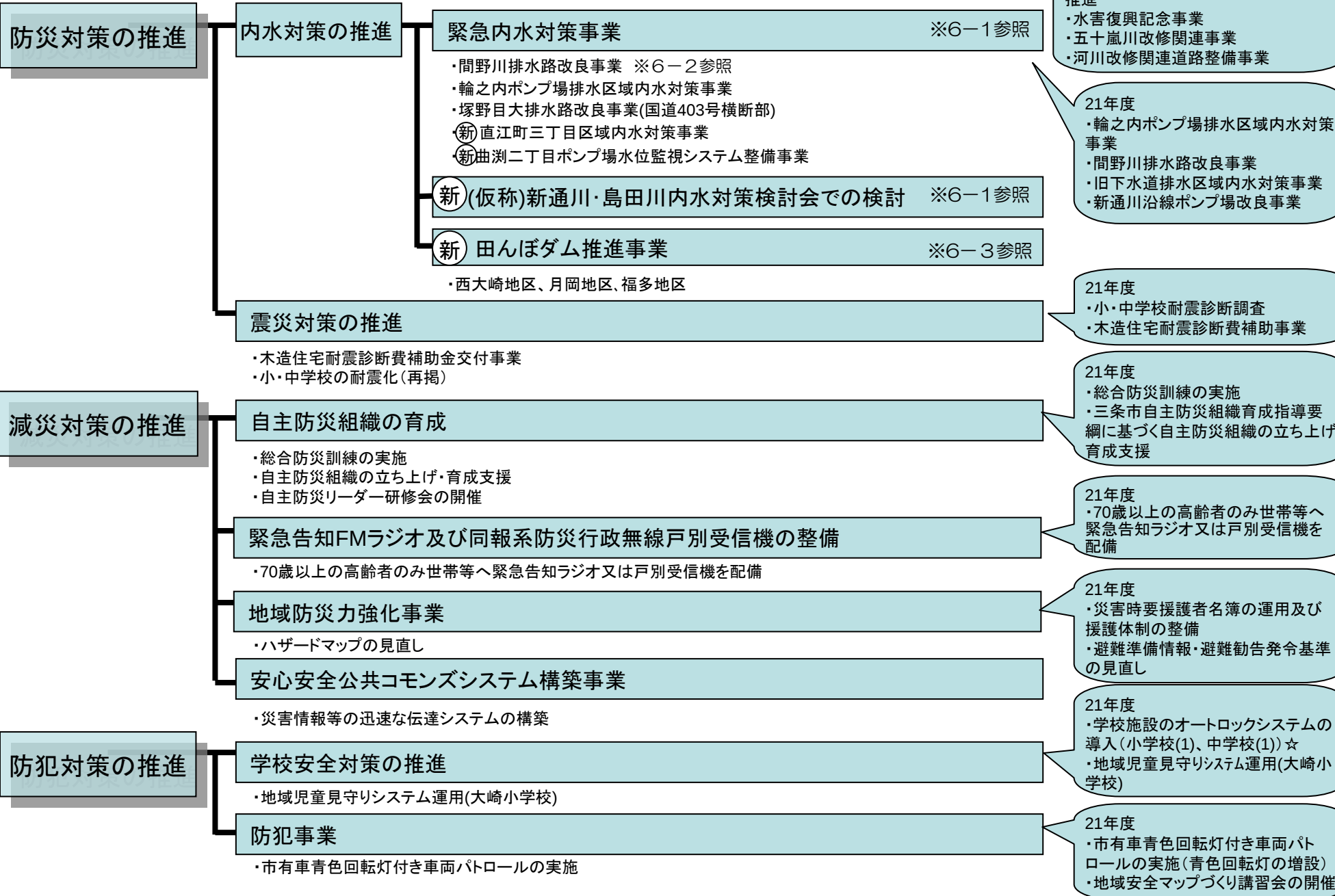
- ・下田地域交流拠点施設整備検討事業：交流促進センター庭月庵悟空改修工事実施設計ほか
- ・保内地域交流拠点施設の検討：アドバイザー報酬 ほか
- ・競馬場跡地利活用の検討：検討会報酬、デザイン委託 ほか

完了 30事業

- 防災無線システム
- 都市計画道路島田線
- 本成寺地区農業集落排水
- 川通地区農業集落排水
- しらさぎ荘
- 千代が丘保育所
- 下田公民館
- 守門岳登山道
- 火葬場
- 三条東公民館 など

新市全体の
均衡ある発展

平成22年度「果断の年」

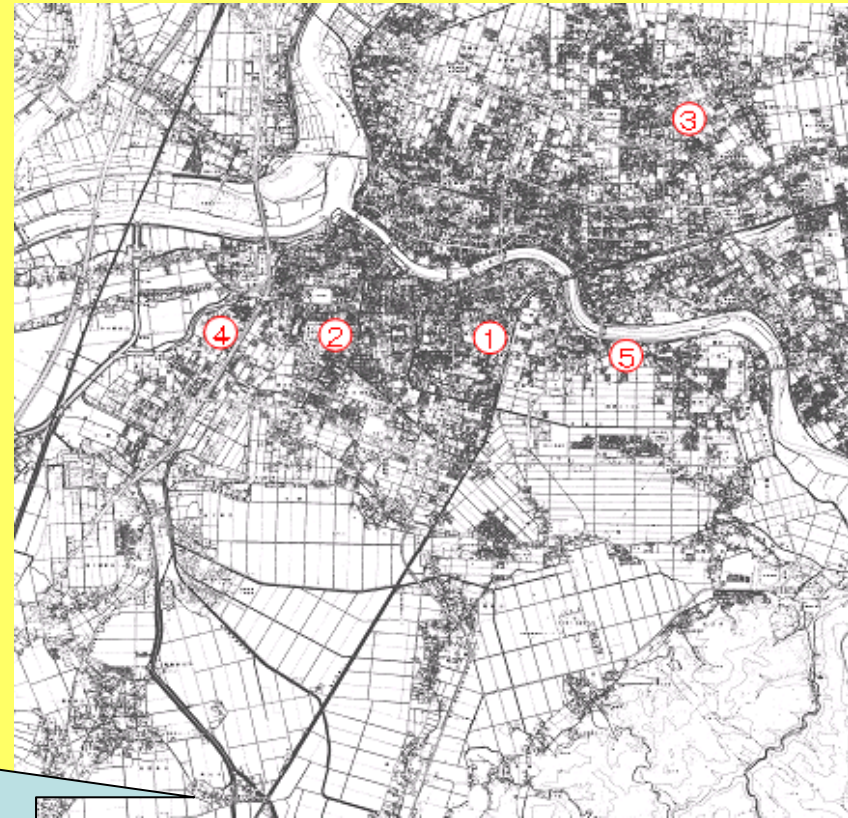


6-1 内水対策の推進

市街地の強雨時に湛水する地域における短期的な当面の対策を行うとともに、排水において重要な役割を果たす河川について、流域の内水対策と連携しより効果的に進めるための検討を行い、浸水被害の軽減を図るもの

平成22年度に実施する事業 【予算額】 246,250千円

- ① 間野川排水路改良事業（南新保、南四日町一丁目）
〔事業予定期間〕 平成20年度～平成26年度
〔事業内容〕 平成22年度 排水路改良工事、第一中学校区小中一体校敷地を活用した調整池実施設計・工事
- ② 輪之内ポンプ場排水区域内水対策事業（条南町、桜木町、西本成寺一丁目）
〔事業予定期間〕 平成21年度～平成27年度
〔事業内容〕 平成22年度 排水路改良実施設計、第一中学校区小中一体校供用開始後の条南小学校跡地の調整池実施設計、ポンプ場改良実施設計
- ③ 塚野目大排水路改良事業(国道403号横断部)
〔事業予定期間〕 平成22年度～平成23年度
〔事業内容〕 平成22年度 排水路改良(国道403号横断部) 調査設計
- ④ 直江町三丁目区域内水対策事業
〔事業予定期間〕 平成22年度～平成24年度
〔事業内容〕 平成22年度 効果的対策調査設計
- ⑤ 曲渕二丁目ポンプ場水位監視システム整備事業
〔事業予定期間〕 平成22年度～平成23年度
〔事業内容〕 平成22年度 水位計設置工事



(仮称)新通川・島田川内水対策検討会

嵐南地域の排水において重要な役割を果たす新通川及び島田川について、流域の内水対策と連携し、より効果的に河川改修を進めるための検討を行う

県

市

学識経験者

南新保、南四日町一丁目地区の浸水被害の軽減を図るため、引き続き、間野川排水路整備を行うとともに、第一中学校区小中一体校の整備に併せ、強雨時における間野川上中流域の雨水を一時貯留するための調整池を整備するもの

788m
中学校区一体型校舎敷地を活用
工事 400㎡規模 1基
舎供用開始後の四日町小学校跡
基

南新保
四日町小学校
間野川
三島市医師会館
三島市税務署
調整池(400㎡規模)予定地
旧三島高等学校
支川排水路
間野川
北新保一丁目
北四日町
南四日町一丁目

 H22事業
 H21事業

6-3 田んぼダム推進事業

水害の被害を軽減するため、水田に雨水を一時貯留し、時間をかけて下流へ排水することにより下流の市街地を洪水から守るもの

【予算額】 5,817千円

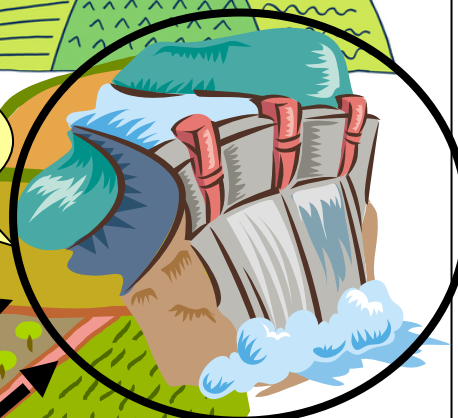
【実施対象地区・面積】

- 西大崎地区 100ha
- 月岡地区 100ha
- 福多地区 130ha



水を張るから地球
温暖化を防止！

ヒートアイランド
現象の防止



洪水を防止

